

海水浴場等の入込状況について

昨年度の梅雨明けの遅れとはうって変わり、7月・8月は好天に恵まれ、市内の海水浴場・市営プールなどの入込客は増加しています。

静波海水浴場は6月30日、さがらサンビーチは7月1日にオープン、B&G海洋センタープールは7月1日、市営地頭方シーサイドプールは7月24日に営業を開始しました。

小中学校が夏休みとなる7月半ばごろから客の出足も伸びており、例年どおりの賑わいとなりました。

記

1 入込状況

- (1) 市営海水浴場駐車場駐車台数（8月15日現在）
 - ・静波 13,936台（昨年：11,696台） 前年比119%
 - ・さがら 4,960台（昨年：4,238台） 前年比117%
 - ・市全体 18,896台（昨年：15,934台） 前年比119%
- (2) 市営地頭方シーサイドプール入場者数（7月24日～8月22日）
 - ・22年度 5,627人（前年比111%）
 - ・21年度 5,061人
- (3) B&G海洋センタープール入場者数（7月1日から8月25日まで）
 - ・22年度 4,792人（前年比117%）
 - ・21年度 4,081人

2 概要

- (1) 海水浴場駐車台数からみると、市全体として2割近いアップとなっている。
- (2) シーズン開始の7月3連休中（海の日）は、海水浴場内でのさまざまなイベント開催により入り込みがアップし、特に静波海水浴場においては、3万人の入込客であった。お盆時期は、台風の影響による天候不順があったため客足の伸びが少なかった。
- (3) 観光協会より、宿泊状況については例年並と聞いており、天候が良いこともあり今後の伸びを期待したい。

3 現状

- (1) 昨年のような災害は、無かったがお盆時期の天候不順が伸びを鈍らせた。
山梨・長野からの観光客は、住居地の天候にも左右されるようである。
また、出かける場合、現地の天候情報を得て出かけるため、静波海水浴場に設置されたライブカメラが動画対応となり、現地の状況が動画で確認できるようになったことは大きい。
- (2) 報道各局で、警備本部や海水浴場を取り上げてくれたため、海水浴場の現状がリアルタイムでお茶の間に流されたことは良かった。